Bangladeshの片隅

Vol.04

シンガポールという国について

文 田口 茂樹
text by Shigeki Taguchi

2015年の6月よりシンガポールの居住者として暮らしている自分にとって本来、この国は第二の故郷と思ってしかるべき場所であるはずですので少し。

シンガポールの国土は東京23区と同等の広さで世界第二位の人口密度を誇り、さりとて渋滞がほとんどなく、赤道直下なのに蚊がほとんど見られず、といういささか不思議な国でもあります。その全てに真っ当な理由があって、街にはタバコの吸い殻やゴミが一切なく、おそらく監視カメラが張り巡らされているため犯罪率もおおよそ低く治安は良いかと思います。女性は特に安心するでしょう。

ですが、自分のような典型的な男性、路地裏や怪しい腐臭のようなところにある、汚い居酒屋がありそうな場所が好きな人間にとって、それでは少し物足りないのもまた事実。

他の都市とのアクセスもよく、僕のよく行く、ジャカルタは1・5時間、プノンペンは2時間、ダッカは4時間のフライトで到着します。なので、シンガポール居住でありながら、時間さえあれば、他の都市に移動するのが日々の常でして、こればかりはどうしようもないのかなと。

節税のため移住した人の中には数年後に日本に帰国したり、また何か用事を見つけては別の国に頻繁に移動している人たちがいますが、そういう人たちには、郷愁に似た牧歌的な感情があって、とてもシンパシーを覚えます。

建国の父、リー・クアンユーが逝去した際には国を挙げて哀悼の意を表明していたのが印象的でした。建国50年の際にも国中の車が国旗をつけていたのも印象的でした。そしてリー・クアンユーは日本の高度経済成長をモデルに工業化を急いだと言います。その後シンガポールの発展は工業から金融市場などサービス分野に軸足を移しましたが、人材育成や技術移転の促進は、隣国マレーシアのマハティール首相が80年代に進めた日本をモデルとするルック・イースト政策に先行する形となったとも言います。

日本をモデルに発展した東南アジア各国のほんの一部のエピソードです。

Profile

1975年 大阪生まれ
2000年3月 関西大学法学部卒
同年4月 株式会社ゴールドクレスト入社
2003年4月 株式会社エス・エム・エス 創業
2008年3月 同社 東証マザーズ上場
2011年12月東証一部上場
2011年9月 同社 引退
2014年 バングラデシュにて 株式会社Japan Taguchi construction 設立
現在に至る。